

Excel 快速 お仕事術

満載!
業務に役立つ
実用テクニック



牧村 あきこ
MAKIMURA, Akiko

第12回

Webページのスナップショットを 表に組み込んでみよう

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
Excel 2000/2002

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥EXCELディレクトリに収録しています。

・URLリスト.XLS
今回のサンプル



IEとの連携

Excelは大変優れた表計算ソフトですので、一般的な事務作業を行なうために必要な機能は一通り搭載されています。関数やデータベース機能などを駆使した表をあらかじめ作り込んでおけば、VBAを使わずとも、大半の処理を行なうことができます。

ですが、Excel以外のアプリケーションと連携して……、となった場合、やはりVBAを使って一連の処理を自動化したほうが、スムーズに作業を進められる場合が少なくありません。Excel VBAを用いて他のアプリケーションを制御するには、いろいろな方法があります。どの方法を選ぶかはアプリケーションの種類や本来の目的にも左右されます。

そこで今回は、一例として、ExcelからInternet Explorer (以下IE)

を呼び出して特定のWebページを表示させ、その画面をキャプチャしてシートに貼りこむというプログラムを作成します。この処理の過程で、IEの起動方法や、画面キャプチャの手法などを紹介してゆくことにしましょう (図1)。

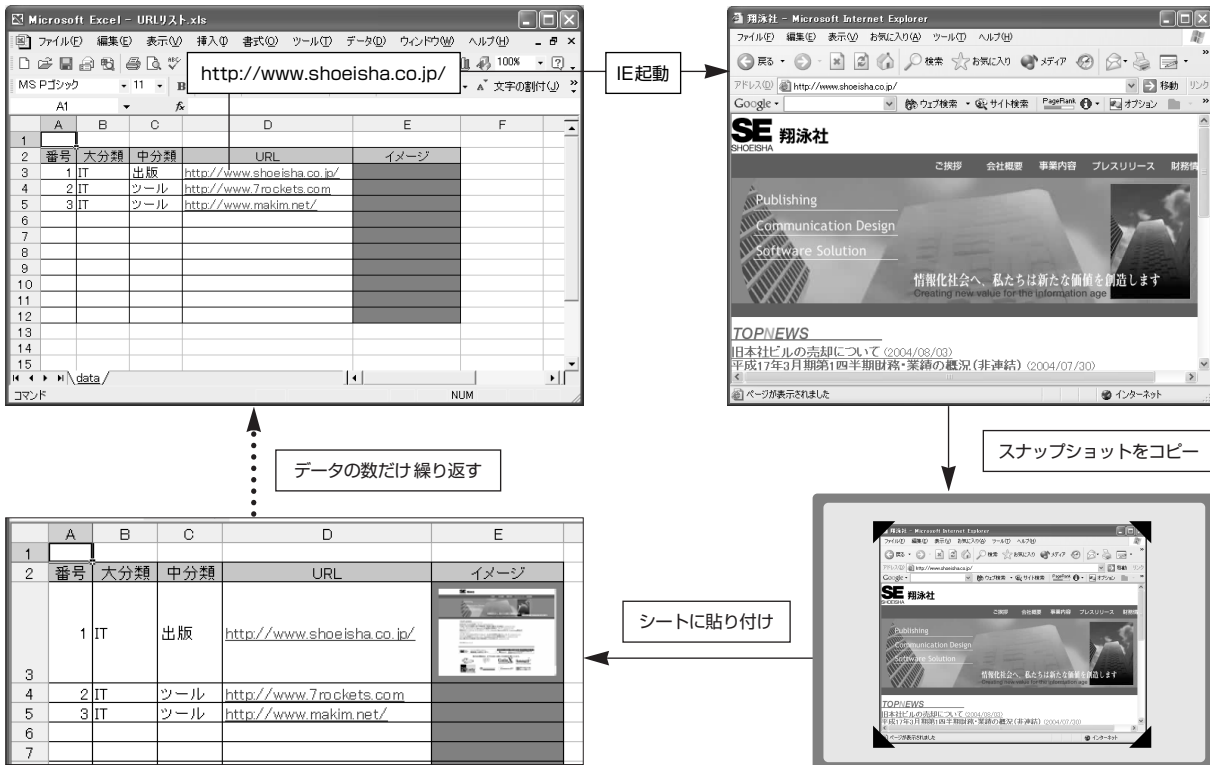


まずは一覧表を 準備しよう

プログラム作成に取り掛かる前に、URLアドレスを入力した表を用意します。このサンプルではアドレスが入力されているセルの右隣に、Webページの画面図を貼り付ける列があります (図2)。Excelの既定では、セルにURLアドレスを入力すると自動的にハイパーリンクが設定され、セルをクリックすると既定のブラウザが起動して該当するアドレスのWebページが表示されます。実際にページ内容を閲覧する場合はそれでもよいので



図1：セルに入力されたURLからWebページのイメージ画面を取得する



ですが、サムネイルのように図として保存しておけば一覧表の中でWebページのイメージもあわせて確認することができます。

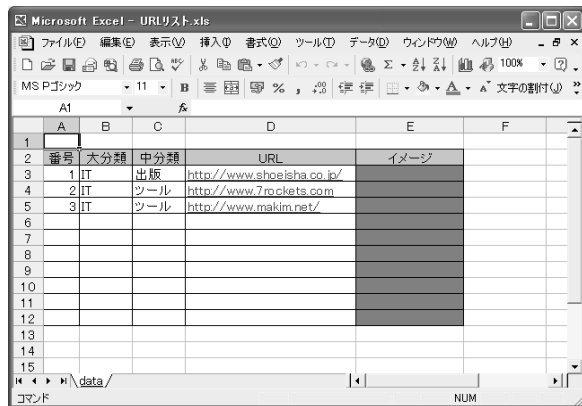


IEをVBAから操作する方法

早速プログラムの作成に取り掛かりましょう。メニューから [ツール] - [マクロ] - [Visual Basic Editor] を選び、Visual Basic Editor (以下VBE) を起動します。

Excel VBAから他のアプリケーションを起動する場合、SHELL関数を使う方法があります。この方法でもよいのですが、今回はもっと手軽にIEを起動したり、終了させることができる方法を紹介합니다。まずは、[ツール] メニューから [参照設定] を選び、参照可能なライブラリファイルの一覧から「Microsoft Internet Controls」にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックしてください (図3)。この参照設定を行なうことにより、VBA

図2：URLアドレスを入力した一覧表を用意



上でIEのインスタンスを操作できるようになります。

次にVBEの [挿入] メニューから [標準モジュール] を選び、新規モジュールを追加してリスト1のコードを入力してください。リスト1はプログラム「GetSnapshot」の骨格となる部分で、一覧表のセルからURLアドレスを読み取り、IEを起動して該当するWebページを表示する処理を行なっています。リスト1の中にアミ掛けした部